

SDGsと協同組合

～2025国際協同組合年の取組み～



国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野でSDGsに貢献している「協同組合」を評価し、2025年を「国際協同組合年」に決めました。

ろうきんは、はたらく人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。国際協同組合年に際し、ろうきんは協同組合としての役割や価値を再認識し、また実践・発信するための取組みを行いました。

全国WEB学習会

ろうきん協会は、全国のろうきん職員の協同組合に係る知識・意識の向上を図り、「協同組合組織としてのろうきん」を見つめ直す機会とするため、以下のテーマで、WEB学習会を開催しました。

テーマ

- 4月 協同組合、労働者福祉運動と国際協同組合年
- 5月 社会的連帯経済を学ぶ
～協同組合運動の源流から考える～
- 6月 これからの時代に期待される
協同組合銀行—ドイツから考える—
- 7月 労働者協同組合（ワーカーズコープ）
～社会課題を解決する協同組合～
- 8月 労働者自主福祉運動と
労働金庫の歴史と役割を学ぶ
- 9月 新しい働き方と労働者福祉
～労働者協同組合との連携の可能性～
- 10月 地域を支える温かいお金
～「ろうきんLab」がめざすもの～
- 11月 地域を支える温かいお金
～高齢者対策を考える～

ろうきん協会主催 国際協同組合年シンポジウム

ろうきん協会は、ろうきんの協同組合としての役割や価値を再認識し、また実践・発信するため、2025年11月28日に「国際協同組合年シンポジウム～協同の力で社会を変える～」を開催しました。本シンポジウムでは、学識者や活動の実践者によるパネルディスカッションや、「ろうきんLab」による新しい事業モデル構築の取組み状況報告、全国のろうきん職員によるトークセッションが行われました。



レポートの本編はこちらから！

『ろうきんSDGsレポート2026』

「ろうきんSDGsレポート2026」では、「ろうきんSDGs行動指針」に基づく、全国のろうきんの2025年度の取組みを紹介しています。



<https://all.rokin.or.jp/about/sdgs.html#cnt02>

北海道ろうきん・東北ろうきん・中央ろうきん・新潟ろうきん・長野ろうきん・静岡ろうきん・北陸ろうきん
東海ろうきん・近畿ろうきん・中国ろうきん・四国ろうきん・九州ろうきん・沖縄ろうきん
<https://all.rokin.or.jp/info/list.html>

お近くのろうきんの
ウェブサイトは
こちらから



発行元 一般社団法人 全国労働金庫協会（2026年8月）



題字：A/Yfont ©sendaifont Artwork：加藤 大輝（アスノバ）

SDGs REPORT 2026

リーフレット

ろうきんは、共助のネットワークと金融機能を活かしながら、
はたらく人の生活向上という使命を徹底して追求し、
その大切な資金を“**意思のあるお金**”として
持続可能な社会へと循環させていきます。

ろうきんの社会的役割とお金の流れ

ろうきんは、はたらく人からお預かりした大切な資金を、はたらく人自身の生活向上のための融資や、社会や環境等に配慮した投融資に役立てることを通じて、持続可能な社会の実現に資するお金の流れをつくりだしています。そして、この「意思のあるお金」による社会的好循環を、会員・地域とともに、労働者福祉に関わる団体、協同組合やNPOなどのソーシャルセクター等との協同を通じて、実現していきます。



Social Report

ご利用者の皆さまからお預かりした資金の一部は、働くことや暮らしの安心を支えるソーシャルセクターへの融資等に活用されています。

北海道ろうきんでは、社会福祉法人登別さいわい福祉会(北海道登別市)の生活介護事業所「サポートセンター心愛(ここあ)」の移転・新築のサポート役として資金貸付の取り組みを行いました。

2026年2月に供用開始した新事業所は、地域との交流が促進される恵まれた立地に、利用者の方々がのびのびと活動するための広い敷地と、自然と触れ合える開放的な空間を備えています。そのほか、最新式の機械浴設備の導入により利用者にも介助者にも心地よい介助を実現できました。ろうきんによる資金支援が、よりよい地域づくりの活動へと着実に繋がっています。



ROKIN Information

01

近畿ろうきん51店舗が取り組む新しい仕組みの子ども支援

「推しのNPOプロジェクト」

近畿ろうきんでは、子ども支援の取り組みの一つとして、51店舗の推進委員会(会員労働組合等の代表者が集まって、店舗の運営方針等を話し合う場)が主体となった新たな施策を始動しました。

推しのNPOプロジェクトとは

「推しのNPOプロジェクト」は、営業店と店舗の推進委員会がともに取り組む企画で、地域で子ども・子育て支援活動を行うご当地NPOの中から、目的や活動内容に共感できる「推しのNPO」(=応援したい・推したいNPO)を自分たちで選出し、年に一度寄付を行う仕組みになっています。

活動の流れ

- 各営業店および推進委員会が、ご当地NPOの中から「推し」を選出
- 営業店・推進委員会・会員労働組合等が、ろうきんの推進活動に取り組む
その行動量・結果をもって寄付金額を決定し、「推し」へ寄付
- NPOは、ファン(寄付した営業店)へ寄付金の使途や成果を報告(フィードバック)

ろうきん運動が職域×地域連携を生む仕組み

本プロジェクトの特徴は、会員労働組合等とともに取り組む「ろうきん運動」の行動プロセスに観点を置き、寄付額決定の根拠とする点にあります。

これまでろうきんが行ってきた主な寄付活動(ろうきんご利用者から集めた預金やご厚意をもとに実施する寄付など)とは異なり、本プロジェクトでは、会員労働組合等によるろうきん運動(例:金融セミナーの開催・積立預金募集活動・相談窓口の設置など)をポイント化し、その年間ポイントを寄付額に連動する仕組みになっています。

また、ろうきんの運営をとともに担う推進委員会のメンバーが、地域のNPOとの連携活動に取り組むことで、これまでの労働組合等間の職域のつながりだけでなく、職域と地域という新しいつながりが広がっていくことも、本プロジェクトの大きな特徴だといえます。



「推しのNPOプロジェクト」のイメージ



ROKIN Information

02

誰ひとり取り残さず、つながり、 支え合っている未来へ。 みらいをつなぐ ～ROKIN PROJECT～

東海ろうきんは、地域を支え、地域と人々の橋渡し役になることで、互いが「つながり・支え合う」サイクルをつくっていく多様な取り組みを実施しています。

はたらく人に
ありがとうメッセージ

「はたらく人への感謝の気持ち」を込めたメッセージを募集し、今年は3,208通の応募の中から15作品が受賞しました。



地域のプロスポーツチームとの連携

地域のプロスポーツチームとの連携プロ野球チーム「中日ドラゴンズ」やプロサッカーチーム「名古屋グランパス」への協賛により、地域の活性化をめざす取り組みを行っています。

「東海ろうきんナイター」でのイベント参加の様子



「グランパス サステナEXPO」での出展ブースにて金融クイズ等を実施



ROKIN Information

03

ろうきん森の学校 「森づくり」から「人づくり」、 「地域づくり」につながる活動

「ろうきん森の学校」は、労働金庫連合会が2005年に全国のNPOと協働で創設した、豊かな森の再生・環境問題に取り組む人材育成を目指す取り組みです。2026年3月末現在、富士山・福島・新潟・岐阜・広島の全国5地区で活動を展開しています。

「森を育む」、「人を育む」、「森で遊ぶ」の3つを活動の柱として取り組み、里山再生や環境教育人材育成、子供から大人まで多様な人が楽しめるプログラムの提供等を行っています。

活動の3つの柱

- | | | |
|-----------------------------------|------------------------------------|---|
| 1. 森を育む
植樹、間伐・下刈り等の森林整備 | 2. 人を育む
森づくりや環境教育リーダーの育成 | 3. 森で遊ぶ
里山を活用した自然体験・環境教育プログラムの開発と実施 |
|-----------------------------------|------------------------------------|---|

2025年度に実施した一部プログラムの様子

